



NO. 840
 発行
 2015年
 3月12日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 上石 昌彦
 編集責任者
 教 宣 部

職場の労働条件改善 組織強化・拡大へ

第121回 拡大地方委員会

第121回拡大地方委員会が2月28日13時から、地本事務所で開催され、春闘の取り組みをはじめ当面する闘争方針が決定されました。

委員・傍聴など全体で11名から発言ありました。職場の労働条件や問題点・組織拡大・ときめき鉄道開業に伴うさまざまな職場の状況や問題点が発言されました。東日本本部から宮崎副委員長・武笠執行委員が出席し宮崎副委員長から、あいさつがありました。



藤井副委員長の開会あいさつがあり、その後、直江津地域分会の酒井委員が議長に選出されました。

議長あいさつ 酒井委員

酒井委員は「7名の出向発令が3月14日付であり、ときめき鉄道へ出向となる。家庭の状況などで出向を希望した。しかしJR本体にいたかった。出向後、職場で問題

が発生すると思うので団交などで要求の改善を求め、少しでも良い会社にしていきたい」とあいさつがありました。



委員長 上石 昌彦 あいさつ



自公政権・安倍内閣は暴走している。東日本大震災で放射能汚染が続いている状況の中で、原発再稼動を進めている。国会で、原発・集团的自衛権・労働法制改悪など、国民から、かけ離れた政策を進めようとしている。

大企業本位の政策になっている。安倍政権打倒統一自治体選挙への取り組みを進めていこう。

労働法制改悪の問題で、前段で春闘学習会を開催した。大変な法案になっている。

3・14ダイ改で、北陸新幹線が開業しときめき鉄道へ出向となる。ときめき鉄道においても国労が運動を進め改善していくこと。職場での要求改善に向けて取り組んでいく。そして国労の課題は組織強化・拡大だ。委員会で組織拡大についても発言していただき、方針書に肉付けをしていただきたい。



その後、上石委員長のあいさつ。東日本本部・宮崎副委員長のあいさつがあり、方針提起、全体の質疑・討論がありました。概ね、15時30分終了し、その後は全体で懇親会を開催し交流を深めました。おつかれさまでした。



質疑・討論

●現在、長岡車輛センターへ出向している。3月1日から、JR貨物会社は手当廃止を実施する。年末年始の手当も同様に廃止になるのか？ダイ改から青年18キップが利用できなくなるのか？

●現在、NTSに出向している。年間休日がJRより9日間少ないので年休の消化が早い。NTSに入社して1年未満の社員は、忌引き制度が無い。改善させていくべきだ。NTSの社員は忌引きが5日間だが入社したばかりなので、その制度が適応されない。

●1月、2月は電車を運転している。気動車の故障が多くなっている。米坂線のなだれ、北五泉でも車とぶつかって故障、走行中にドアが開いたりしている。運用車輛の両数に余裕が無く休み無しで運用されている。だから、そうなのではないか。故障車輛の修繕が遅い、部品が無い。そのことで利用者、乗務員にしろよせがある。乗務員の被服がアノラックが貸与されているが、他にウインドブレーカーなど無いのか。個人で購入して着ている人もいる。カバンも同様だ。季節に対応したものがいい。被服の改善を求めていること。



●2月21日に貨物の定期委員会を開催し春闘の取り組みを決定した。FAX、ハガキ行動、署名の取り組み。3月6日に地本春闘総決起集会の開催、3月9日に国労中央行動が計画されている。貨物の問題を解決していくため、客・貨一体となった取り組みを進めていこう。



●JR貨物の手当廃止について、平成30年にJR貨物は完全民営化を目指す黒字化へ。赤字の原因は、設備関係レール使用料など構造的矛盾がある。黒字化を目指すために2年間の新採者の採用凍結、手当の廃止。2010年から4年連続の黒字になつているが、手当削減・要員削減・人件費の削減などがあったからだ。手当の廃止について、提案内容がバラけている。各系統別に提案されている。(乗務員の旅費・祝日手当など)



ダンプ・トラックパレード

4月19日(日)

8時30分

近鉄レックス集合

今年も「ダンプ・トラックパレード」が実施されます。パレードは西区の近鉄レックスをスタートし古町十字路など新潟市中心部を回ります。多くの組合員の参加をお願いします。古町十字路では、街頭宣伝行動も計画されています。



●国労東日本本部の拡大委員会で委員長のおいさつの内容に問題な発言があった。会社別組合か単一組織なのか？エリア本部の委員長おいさつの内容からどうなるのか。単一組織として守っていくこと。職場で賃金未払いがあった。再発防止策を強化していくこと。労災情報が発行されているが、新津車輛製作所の労災が記載されていない。なぜ記載されていないのか。



●国労中央委員会の内容について詳細に国鉄新聞に記載されているが東日本本部の機関紙は、拡大委員会の内容について詳しく記載されていない。内容が伝わっていない。

●国労らしい運動を。3月6日春闘総決起集会を開催するが会場変更となった。企画内容の具体化が遅れた。他団体と結集して集会にしたい。デモ行進も実施して欲しい。支部の執行委員会で議論すること。

●検修外注化と運動協会で交流会を開催した。参加者の意見から、出向先会社との団交・委託から直営に戻す。労基署への活用など取り組むこと。3月28日に運動協会の定期委員会を開催する。



●冬期間に車輛のガラスが割れる。アクリル板の使用を検討している。全面ガラス用を作成して欲しい。

●組織拡大と4月に地本組対会議の開催が予定されているが、もう少し中味を具体的にしていきたいこと。新採の配属先の職場・分会は全て招集し議論し連絡を密にして連携を図るようすること。

分会だけでなく関係職協も含めた取り組みを進める。しっかりと分会組織の存続を考えて取り組む。活気を持たせるには今の組織体制を守っていくこと。

トキめき鉄道で分会を結成して活発な運動を取り組む。プロパーを国労加入していくのか？トキめき鉄道に組合をつくれと言われている。

●地本組織は、自然退職で減少している。組織拡大を取り組んでいるが組合間の連絡が取りきれれていない。組織体制の見直しを考えていくこと。拡大で組織が増えたら、その時、見直しを考えること。

編集後記

3月中旬になり暖かくなってきました。春闘行動は中央・地方と展開されています。3月9日に国労中央行動が取り組まれ、新潟でも3月6日に春闘総決起集会が開催されました。その記事は、今回の「国鉄新潟」に記載します。

これから春闘行動など計画されています。4月に、県民集会・5月にダンプ・トラックパレード・国労本部の組織強化・拡大経験交流集いが5月に開催されます。

